

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 38

文・写真◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、ついにあと44日。
開催国の南アでの観戦を予定している人は、
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

今回は南アで買えるお土産を紹介しよう。南アは日本から遠く、ホテルなしの弾丸ツアーでも4日かかる。職場や家庭に気配りが必要な方は参考にしてほしい。
プブゼラ。南ア特有のサッカー応援グッズだが、これは観戦前に買った方が良さそう。時節柄、お土産屋、スーパーマーケット、スポーツショップ等あちこちで売っている。最近では値段も高めで、スタンダードなものでも35ランド（約400円）以上する。また、ビーズ刺しゅう付きや動物の角の形をしたものが200ランド、ヘルメットを楽しくデコレーションして鳴り物をつけたもので350ランドといったところだ。プラスチック製なので、日本に持ち帰るにも問題ない。ただ、露店で買うときは値段に注意しよう。
ビルトン。以前紹介したことがある干し肉だ。ビーフジャーキーのようなもので種類が豊富、ビールのつまみに最適なのだが、残念ながら南アの肉製品を日本に持ち込むことは禁止されている。南ア

●「南アで買うなら、こんなお土産」●



▲土産屋の店頭。黒く曲がりくねっている棒状のものはプブゼラ。こんな形もあるのだ



▲ヨハネスブルグ空港内の土産屋で売っているビーズ人形。カラフルでサイズも大小それぞれ

で存分に堪能してほしい。買ってしまった場合には、日本に到着する前に食べ切るしかない。
動物の角、骨、皮、卵の殻を使ったお土産。買ってもそのまま日本に持ち込めない。南ア政府の証明書が必要で、かつ、日本の空港の動物検疫所で検査を受ける必要がある。不許可となれば没収されてしまうので避けた方が無難だ。
店舗で販売されているお土産は普通値引きしないが、たくさん買う場合には店主と交渉してみよう。逆に露店販売の場合には一品でも値下げ交渉すべきだ。周囲に怪しい人物がいらないか注意しながら、駆け引きを楽しもう。
試合観戦で忙しく、思うようにお土産を探すことができないかもしれないが、心配ご無用。ヨハネスブルグ空港の土産屋は充実している。出発の日には、搭乗手続きと出国手続きを早めに済ませ、巨大な免税品店街で、ゆつくりと品定めをすれば良い。

著者プロフィール◎一専書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html